

卒業研究報告書



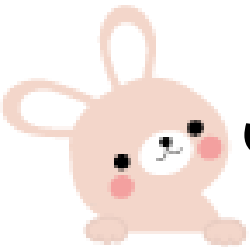
T団地在住の高齢者と地域住民による インフォーマル・サービスに関する調査 -「助っ人隊」の事例を中心に-



長崎大学医学部保健学科看護学専攻

今屋香澄・平山愛美

前田優美・本松邦恵



ご協力ありがとうございました

皆さまのご協力のおかげで、論文を完成させることができました。

今後の地域サポートを検討する上でとても貴重なものであるため、この成果を社会に還元したいと思っております。

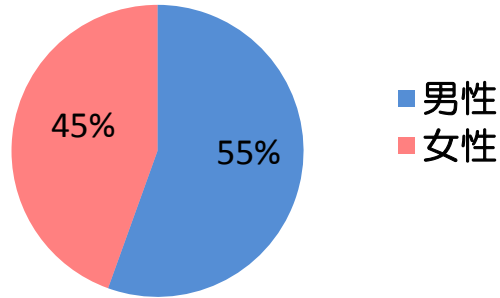
ご協力に感謝いたします。





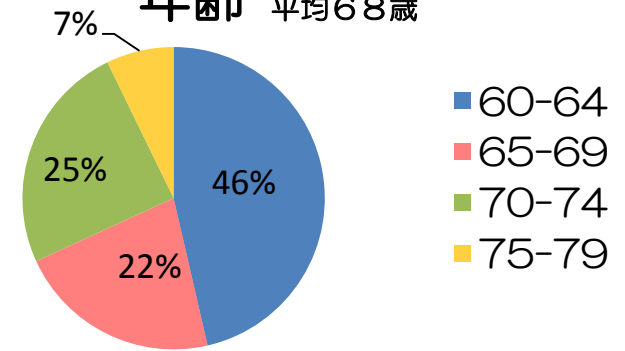
回答者について

性別

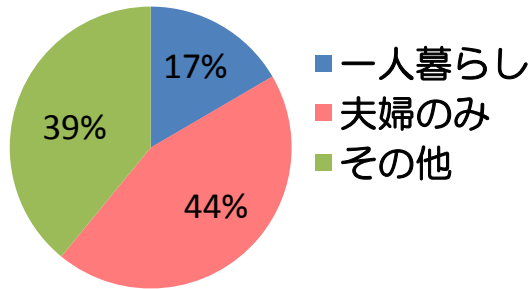


年齢

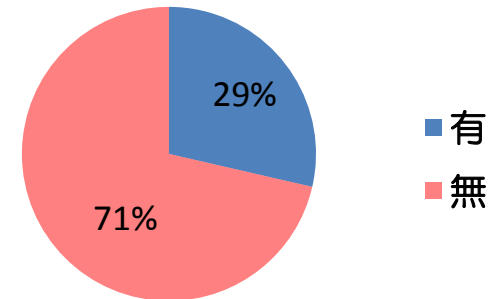
平均68歳



家族形態



職業



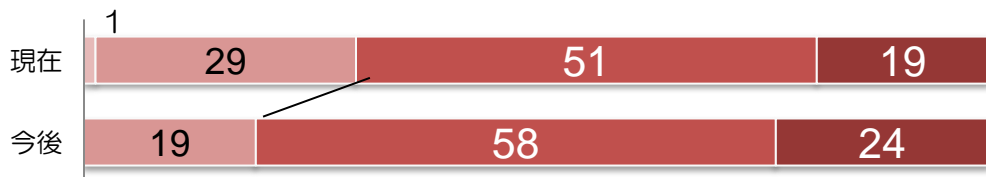
- 計156人の方から回答していただきました。（有効回答率57.6%）
- 男性55%，女性45%と男性が多く、年齢別に一番回答が多かったのは60～64歳の人(46%)でした。
- 家族構成は、一人暮らしが17%，夫婦のみが44%、その他（核家族，3世代家族等）が39%でした。
- 現在、働いていない人は71%でした。
- 居住年数は平均21年で、20～24年が34.6%と1番多かったです。

- 同居家族がいる方のほうが「助っ人隊」のことを知っており、女性の方・高齢の方・働いていないの方が「助っ人隊」を利用していました。



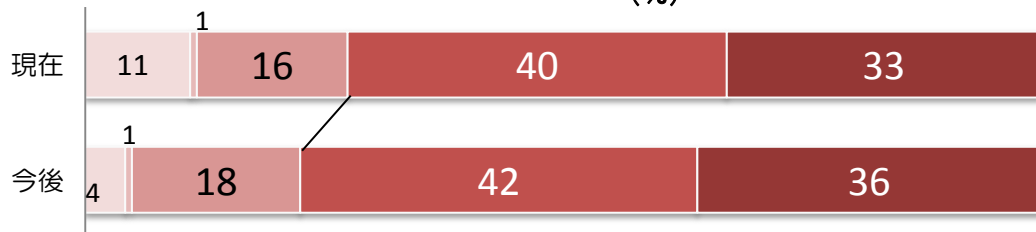
住民同士の関係

図1-1. 近所との付き合い方 (%)



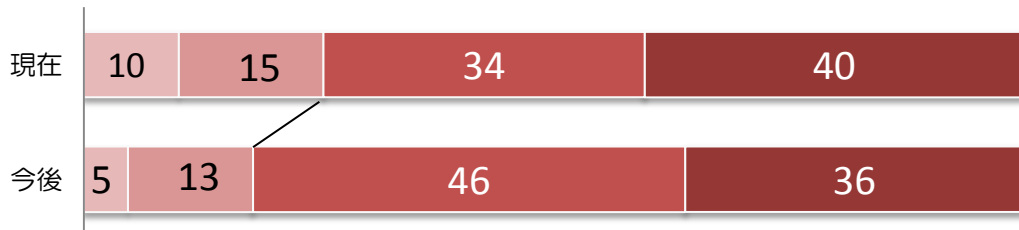
- 付き合いは全くしていない/しなくてよい
- あいさつ程度の最小限の付き合いしかしていない/付き合いでよい
- 日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている/付き合いをしたい
- 互いに相談したり日常品の貸し借りをするなど、生活面で協力しあっている人がいる/協力しあいたい

図1-2. 近所との付き合い頻度 (%)



- 全くない
- ~数年に1回
- ~年に数回
- ~月に数回
- ~週に数回

図1-3. 自治会活動や地域活動への参加 (%)



- 全く参加しない/したくない
- あまり参加しない/したくない
- 時々参加する/参加したい
- 毎回参加する/したい

- 現在の近所との付き合い方では「日常的に立ち話をする程度の付き合いはしている」(51%)が最も多く、付き合いの頻度は「月に数回以上」が73%でした。
- 今後の近所の付き合い方では、「日常的に立ち話をする程度の付き合いをしたい」(58%)が最も多く、希望する付き合いの頻度は「月に数回以上」が64%でした。
- 現在の自治会活動参加は「毎回参加する」「時々参加する」が74%で最も多くみられ、今後「毎回参加したい」「時々参加したい」が82%でした。
- 近所同士の関係があるほうが「助っ人隊」のことを知っていて、利用しており、また今後利用したいと思っている人も多くみられました。



サポート

図2-1. 食料品や日用品の買い出しを主に頼む相手 (%)

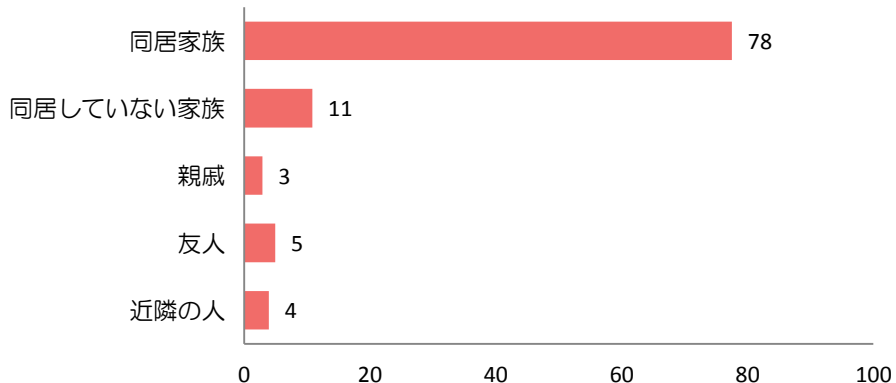


図2-3. 介護保険について主に相談する相手 (%)

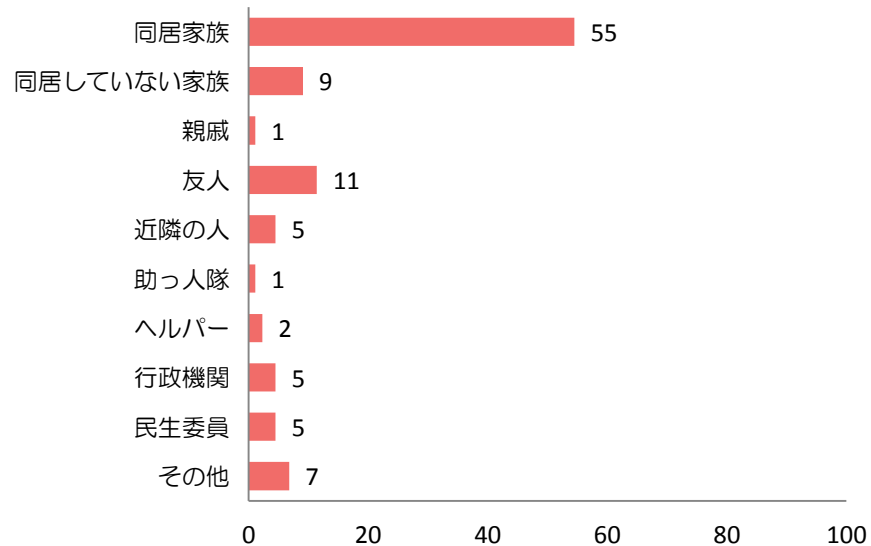
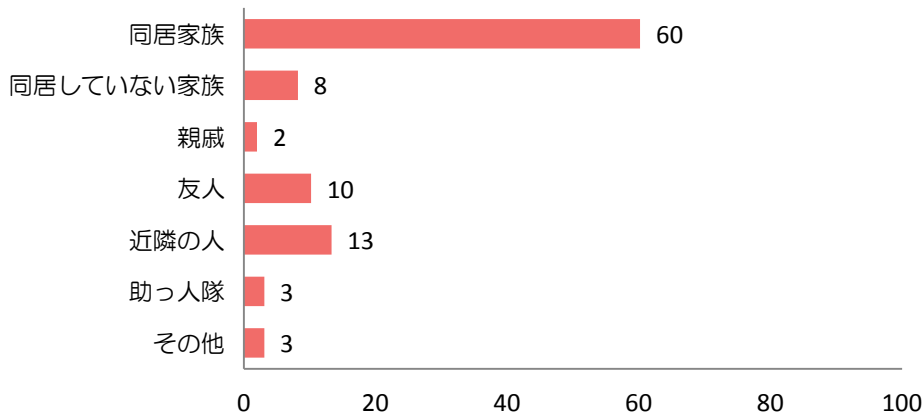


図2-2. 近所付き合いでの悩みごとを主に相談する相手 (%)

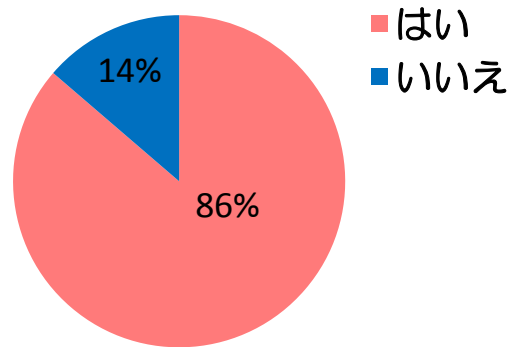


- 「食料品や日用品の買い出し」「近所付き合いでの悩みごと相談」「介護保険についての相談」で主に頼る相手として「同居家族」が一番多く選ばれていました。現在は「同居家族」に頼っている人が多いように考えられます。

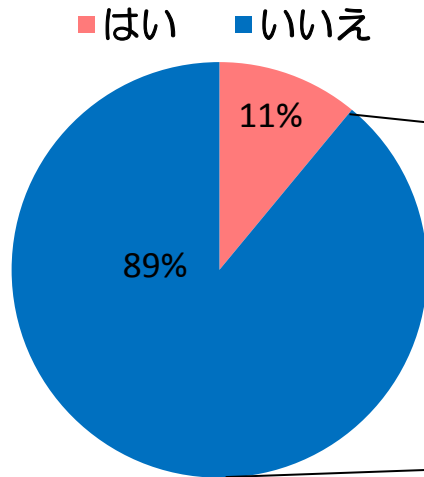


「助っ人隊」について

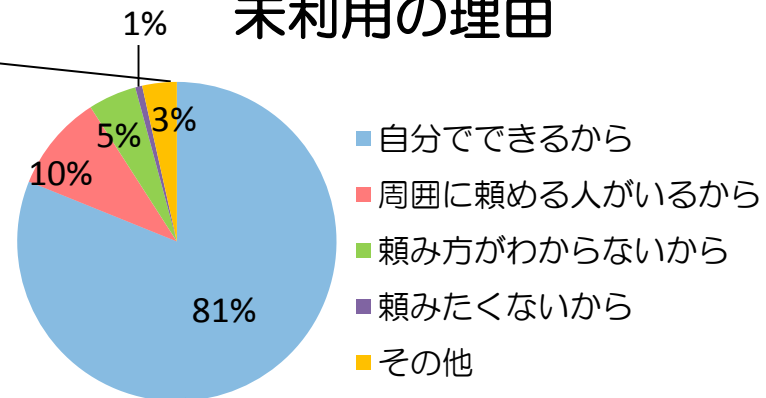
「助っ人隊」を知っていますか？



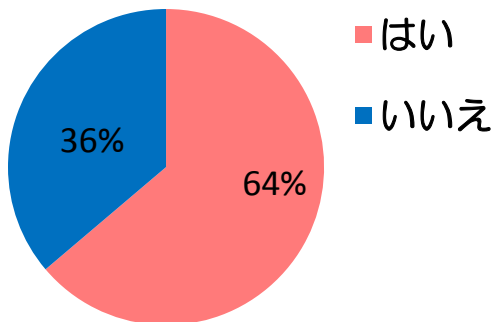
「助っ人隊」を利用したことがありますか？



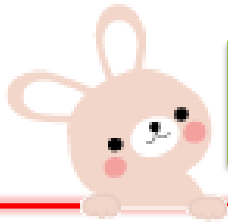
未利用の理由



今後「助っ人隊」を利用したいですか？



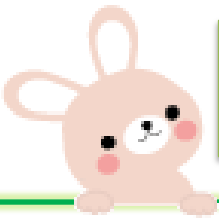
- 利用内容は、電球の交換、朝市、テレビやトイレの修理、庭木の剪定・草刈り、家具の移動、網戸や障子の張り替え、各種相談、害虫駆除がありました。
- 「助っ人隊」が現在は利用されていない傾向があるのは、年齢が若く「自分で出来るから」と答えた人が多かったからと思われます。将来は「助っ人隊」を利用する人が多くなることが考えられます。



<助っ人隊の評価>

- 大変良い活動だと思います。
- 助っ人隊としての活動はとても素晴らしいものですね！！
- 助っ人隊これから先とてもいいことだと思います。
自治会長さんがよくやってくれます。
- 地域にとってとてもいいことをしてもらってると思います。
- 助っ人隊の活動内容等については理解し、有効だと認識している。
今のところ自力及び妻と元気にまた楽しく過ごせるように望んでいます。
- 人は誰でも年を取り、今までできていたことがだんだん難しくなってきます。
自分のことは自分でと思っていますが、一人になった時、困ったらお願いする
と思います。
そして私も自分のできることでお役に立てたらいいなと思います。
会長さんをはじめ、みなさんとても頑張っていて頭が下がります。
- 大変よいことだと思っています。
今後も若い世代が続けてくれるようお願いしております。





< 将来への期待 >

- 地域の連携、相互扶助の活動としてあまり気を使わないご近所の方の同志による「手伝い活動」として定着していけば非常にいいと考えます。こうした活動は「継続していくこと」が1番重要ではないでしょうか？
- 幸いにして私どもには子どもが同居しておりますのでお世話になることはないと思いますが、助っ人隊が町内におられるということは心強いことで頼りにできる存在だと思います。
- 今は同居人がいるので利用することはないが、独居になればお世話になると思います。この団地を終の住居とするには、やはり皆様のお世話になることも考えておかなければなりません。
- 現在は家族内でなんでもできるが、将来は心強いと思います。
- 老人一人になったり、病気などの時、できなくなったときには大変助かると思います。これからも長く続けていただくため、若い人が後に続くようお願いしたいですね。

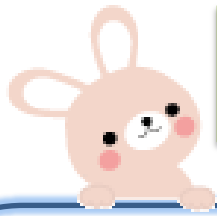




<助っ人隊に協力したい>

- 地域活動に尽力されていることに対し、敬意をもっています。いずれ助っ人隊に加入し、共に活動したいと思っています。
- 団地が年々高齢化している中で、共助精神で老人世帯をいろいろと支援することは大変大事なことです。できる範囲で助っ人隊に協力したいと思います。
- まだ仕事をしていますので、リタイアしましたら、まず協力から始めたいと思います。私共が助けいただくようになるまで助っ人隊が存続していますように願っております。





< 助っ人隊への要望 >

- 無料なのか有料なのかは知らないが、無料だったら逆に頼みづらいと思う。
- 活動のたびに毎月の自治会報で知らせてほしい。
そうすれば、そんなことを頼めるんだとみんなに知ってもらえるから。
- 援助を頼むにあたり、その都度必要に応じ、考え対応していきたい。
相談事に対し、親身に対応していただくことを希望いたします。
個人について知ったことを、他言無用に守っていただきたい。
守秘義務を実行してほしい。
- 車の運転ができない人を買い物に連れて行く、もしくは代わりに買い物をしてきてあげるなどの生活の助けが必要な方もいらっしゃいます。
迷惑を人にかけてたくないと思う方もいらっしゃいます。
そのような人たちの心の声をどう聴いてあげるかが大事だと思います。
- あまりPRされていない。どこへ連絡、依頼してよいかわからない。





<感謝の言葉>

- いつもお世話になっております。ありがとうございます。
- 助っ人隊には感謝します。
- みなさん気軽に接してくださるので嬉しいです。
- お願いすると何事も快く引き受けてくださるので家族のようです。
お礼は微少ですので受け取っていただきたい。
これが私たちのお願いです。助っ人隊は町民の助け船です。
- 自治会長さんからもよく声をかけていただき、ありがたく思っております。
今のところは自分でできることが多いのですが、近い将来、助っ人隊にお願いすることが増えてくるかと思っています。
このようなシステムがあることは、とても嬉しく誇らしいことです。

